

| | |
|----------------------------|-------------------------|
| 岩手県工業技術研究推進会議 材料技術部会議事録 | (実施日) 平成16年10月26日(火) |
|----------------------------|-------------------------|

| |
|--|
| (テーマ名) 溶融・結晶制御技術による産業廃棄物の無害化と有効活用 (中間評価) |
|--|

| 委員 | 質問・意見 | 回答 |
|-----|---|--|
| A委員 | 不法投棄物は雑多な物で構成されていると思うが、どれを試料に使ったのか？ | 60種の試料を分析し、平均的な物を試料として使用した。高温でも溶融しない特殊な試料は平均化から除いた。平均的な試料の中から、汚染の激しい岩手県側奥(北側)の汚染の激しい部分に似た試料を選んだ。 |
| | 不法投棄物はもともと何なのか？ | パーク堆肥だが、それに燃えがら、汚泥が混ざり、さらに有機溶媒がかけられている。悪臭がし、ダイオキシン、鉛、トリクロロエチレンなどの有害物で汚染されている。 |
| | メタルは少ないか？ | 金属アルミが入っている。シュレッダーダスト由来と思われる。 |
| | 鉛の由来は？ | 推測だが、ガラス工場の汚泥(鉛ガラス)由来と思われる。 |
| | スラグの主成分は？ | ケイ素、カルシウム、アルミニウム、鉄である。有害物として鉛、フッ素、ホウ素が基準値を超えた。 |
| | 碎石利用とのことだが、成分が近い物ができるのか？ | 碎石に近い物ができる。不法投棄物は覆土されており、その土と一緒に処理するためである。 |
| H委員 | 緊急課題だと思うが、溶融時のダイオキシン発生や、有毒ガス発生、炉の傷みなどについては評価するのか？ | 工業技術センターでは、ダイオキシン発生とスラグが利用可能かを試験するが、企業側でも試験をして評価する。一般に高温ほど炉の傷みが激しいが、コストの詳細までは企業では教えてくれない。スラグの成分も有害ガスについても、すべて基準をクリアしている。 |
| | いつまでに研究すべてを終わらせるのか？ | 来年12月に第二クリーンセンターの選定が行われるため、それまでに終わらせたい。ただし、圧縮試験などのコンクリート製品試験の一部は来年度以降の予定で、18年度には試作した製品のフィールド試験も予定している。 |
| E委員 | 試験した溶融方式はガス化溶融か？ | 試験した中で、S社だけがガス化溶融であるが、K社とT社は焼却した灰を溶融する方式でガス化溶融方式ではない。K社は重油を熱源とする表面溶融、T社は電気抵抗式である。 |
| | 900、3時間の熱処理とのことだが、コストはあうのか？ | スラグを再度加熱するのではあわないが、スラグが炉から出てきたところを保温すれば低コスト化できる。来年度以降に企業と実施する予定である。 |